

2人の名手が深く、鮮やかに描き出す
——ミヤスコフスキー&プロコフィエフの光彩——

プラチナ
コンサート・シリーズ
Platinum Concert Series
Vol. 24

伊藤悠貴
(チェロ)

福間洸太郎
(ピアノ)

Program

ミヤスコフスキー

チェロとピアノのためのソナタ

第1番 Op.12

Myaskovsky: Sonata No.1 for Cello and Piano, Op.12

チェロとピアノのためのソナタ

第2番 Op.81

Myaskovsky: Sonata No.2 for Cello and Piano, Op.81

プロコフィエフ

独奏チェロのためのソナタ Op.134

Prokofiev: Sonata for Solo Cello, Op.134

ピアノ・ソナタ 第4番 Op.29

「古い手帳から」より 第2楽章

Prokofiev: Piano Sonata No.4 in c-moll, Op.29: II. Andante assai

チェロとピアノのためのソナタ Op.119

Prokofiev: Sonata for Cello and Piano, Op.119

©Yuzei Kojima ©Shige Chiba

伊藤悠貴&福間洸太郎

デュオ・リサイタル

YUKI ITO & KOTARO FUKUMA
DUO RECITAL

2026.10/1(木) 19:00開演
(開場18:30)

■ HAKUJU HALL

7:00p.m. Thursday, October 1, 2026 at Hakuju Hall

全席指定 ¥5,000(税込) ※チケット料金には消費税10%が含まれております。
※先行発売などで満席になった際は、以降販売されない場合がございます。

〈お問合せ・お申込〉

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:323-006]

主催:ジャパン・アーツ/Hakuju Hall/株式会社 白寿生科学研究所

50

おかげさまで50年
JAPAN ARTS

2026.4/25(土)
一般発売

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット先行発売
4/18(土)

～プロコフィエフ&ミャスコフスキー『親友の肖像』に寄せて～

ニコライ・ミャスコフスキーは軍務を経て本格的に音楽の道に進んだことから、ペテルブルク音楽院で10歳下のセルゲイ・プロコフィエフと同級になります。二人は固い友情で結ばれ、共作も行いましたが、最初は教官を務めていた作曲家アナトーリ・リャードフに対する嫌悪感で意気投合したと言われています。私と福岡洸太郎さんの場合はなんといってもレア曲に目がないこと！

今回のリサイタルでもコンセプト的なプログラムのもとに、皆さまにぜひ聴いていただきたい至高の名作を集めました。プロコフィエフ生誕135年、ミャスコフスキー生誕145年のプチ・アニバーサリーにかこつけて、私たちも存分に練習と研究、リハーサル、そして当日の演奏を皆さまとともに楽しみたいと思います。——伊藤悠貴

YUKI ITO

伊藤悠貴さんは、英国仕込みの紳士さと博識高さを持ち合わせ、レアものが好きという私との共通項もあり、いつも楽しく共演しています。今回のプログラムも、悠貴くんのアイデアが沢山詰まっています。ミャスコフスキーは交響曲第6番しか知りませんでしたが、チェロソナタもとてもロマンティックで素晴らしい作品で、惚れ込みました。彼の盟友プロコフィエフは、もっとスパイスの効いた音楽で歯切れ良さが心地よく、とても良い対照を成していて、第一次世界大戦の戦乱のさなかに書かれたピアノ・ソナタ第4番の第2楽章は、学生時代ミャスコフスキーと意見を交わしながら書いた交響曲の緩徐楽章が基になっており、非常にメッセージ性の高い名曲だと思います。どの作品も私は初めての挑戦となりますが、今から楽しみでなりません。——福岡洸太郎

KOTARO FUKUMA



伊藤悠貴 (チェロ)

Yuki Ito, Cello

ブラームス国際コンクール第1位、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクール第1位。英国王立音楽大学在学中、名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。ウイグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホールなどでリサイタルを開催する他、2025年サントリーホールにて、チェロ協奏曲《カサノヴァ》管弦楽版を作曲者ヨハン・

デ・メイ自身の指揮のもと世界初演。同氏よりチェロと管弦楽のための《エレジーとスケルツォ》の献呈も受ける。2027年4月カーネギーホールにリサイタル・デビュー予定。The Strad誌より「センセーショナル」と評され、世界的弦メーカー・ラーセン(Larsen Strings)と日本人チェリストとして初めて専属契約するなど、その演奏は国際的に高く評価されている。また、リュブリャナ音楽院(スロヴェニア)などからマスタークラス講師として招かれる他、2025年パリFLAME国際音楽コンクールでは史上最年少審査員長を務めた。幅広いレパートリーの中核にラフマニノフ研究を据え、CDに『ラフマニノフ:チェロ作品全集』、著書に『ラフマニノフ考—チェロ奏者から見たその音楽像—』がある。第2回フルニエ基金賞(英)、第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第27回ホテルオークラ音楽賞受賞。

公式サイト <https://www.yukiitocello.com/>



福岡洸太郎 (ピアノ)

Kotaro Fukuma, Piano

20歳でクリエヴァンド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、サントリーホールなどでのリサイタルの他、クリエヴァンド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など著名オーケストラと多数共演。CDは多数録音してお

り、2023年にリリースした「幻想を求めて — スクリャービン&ラフマニノフ」(ナクソス)は欧州のInternational Classical Music Awardsにノミネートされた。2024年には、通算20作目となるCD「ショパンの想い出」(ナクソス)が日欧同時発売。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ『レア・ピアノミュージック』のプロデュースや、ラジオのパーソナリティ、YouTubeチャンネルでの演奏動画・解説動画・ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。テレビ・ラジオ出演も多数。第39回日本ショパン協会賞、2024年スペインのアルベニス・メダルを受賞。2024年は、日本デビュー20周年を迎え、全国10ヵ所での記念リサイタルツアーを行い、各地で好評を博し、高い評価を得た。多彩なレパートリーと表現力、コンセプト的なプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。公式サイト <https://kotarofukuma.com/home-jp/>

〈車椅子でご来場のお客様について〉

車椅子の方は、ジャパン・アーツびあコルセンターへお問合せください。

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れると、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。